

# 2

## 安心して暮らせる社会・職場を「創り出す」取り組み

### 〔1〕 政策実現に向けた取り組み

#### 2025年度補強方針

#### ③ 政治参画意識および投票率の向上

暮らしの相談活動は、各種器材を活用し、利用促進のため組織内の周知を強化する。

#### ④ 各種選挙への取り組み

来年7月執行の第27回参議院議員選挙を始めとする各級選挙について、推薦候補者全員の当選を目指す。

#### ① 政策要望書の策定と行政・自治体への要請

2年に1度となる「連合愛知政策指針」の改定を行うとともに、愛知県と愛知労働局へ提出する「2024～2025年政策要望書」を策定する。策定にあたっては、政策委員会を軸に新政あいちとの連携をはかりながら進めるとともに、地協において「地域政策推進フォーラム」を開催し、組合員や地域の声を集約する。策定した政策要望書は、「政策要望年間サイクル」にもとづき、行政との各種懇談会を開催し、要望項目に対する施策内容や予算反映状況を確認していく。また、実現した政策についてはチラシを作成し、構成組織へ周知していく。

#### ② 政策推進議員および政党・新政あいち・首長との連携

「働くことを軸とする安心社会」のための政策実現に向けて、国会議員団や新政あいちとの連携強化をはかる。また、地協および地協政策推進議員と連携し、各自治体首長に対し、政策懇談会や意見交換などを通じて、政策実現の働きかけを行う。

#### ③ 政治参画意識および投票率の向上

連合が取り組む政治活動の重要性を訴求し、組合役員・組合員の政治参画意識の向上に取り組むため、政治研修会や国政研修会、県議会傍聴会を開催する。政策推進議員を通じて地域の困りごとを解決する「暮らしの相談活動」を展開する。

また、投票率向上に向け行政への働きかけを継続するとともに、投票の重要性の理解や棄権防止の取り組みなどを強化する。

#### ④ 各種選挙への取り組み

今年度実施される各級選挙において、連合愛知推薦候補者の当選に向け、構成組織・地協が一体となって取り組む。組織内議員および擁立構成組織間の情報交換や交流を行う「組織内議員連絡会議」を開催し、連携を強化する。

また、連合愛知の選挙活動を強化するため、地協にブロック制を導入し、地協間の連携により総合力を最大限に発揮できる体制の構築をはかる。政治活動だけでなく政策制度要求を行う上で重要な基礎データ（在住者数調査）について、その精度を上げていく。

## 〔2〕 多様性が尊重される職場・社会の実現

### 2025年度補強方針

#### ②労働組合におけるジェンダー平等参画の取り組み

2024年11月からスタートする「ACTION PLAN AICHI-IV」フェーズ2について、チラシの配布や学習会を開催し理解浸透をはかる。とりわけ、女性役員選出が未達成の組織に対し選出に向け、結果を求めていく。

#### ① 多様性が尊重される職場・社会の取り組み

あらゆるハラスメントの根絶および安心して働き続けられる両立支援制度の拡充や、職場環境の改善などに取り組むとともに、性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などに関わらず、誰もが多様性を認め、やりがいをもって働くことができる職場・社会の実現をめざす。

#### ② 労働組合におけるジェンダー平等参画の取り組み

本部分針にあるジェンダー主流化およびジェンダー平等参画推進計画「ACTION PLAN AICHI-IV」をさらに推進するため、ジェンダー平等推進委員会を常任執行委員会メンバーで構成し、実効性を高めていく。

三役を含めた女性組合役員の選出など構成組織・地協に対し理解を求めるとともに、推進計画のこれまでの成果と課題について中間総括を行い、次年度以降の取り組みにつなげる。

また、女性役員のエンパワーメント向上や女性役員同士のネットワークづくりのため、意見交換会を開催する。

## 〔3〕 春季生活闘争・最低賃金の取り組み

### 2025年度補強方針

#### ①春季生活闘争の取り組み

中小労組において持続的な賃上げができるよう、適正取引・価格転嫁の実現に向けて、行政や経済団体と連携した取り組みを進める。あわせて、賃上げ獲得に向けた中小労組への交渉支援の方法を見直していく。

#### ②最低賃金の取り組み

特定（産業別）最低賃金の金額改正に向けて、すべての組合で協定締結を進めるとともに、締結金額を上げるよう働きかけを強化する。

#### ① 春季生活闘争の取り組み

中小共闘センターを設置し、中小労組の取り組み支援に向けた情報共有をはかる。また、学習会などを行い各組合の交渉に活かしていく。さらには、経営者団体に対し、春季生活闘争における労使の主張や働き方に関わる課題の共有などの働きかけを行うとともに、「適正取引・価格転嫁」の実現に向けて連携をはかる。

また、春季生活闘争期の気運を高め、広く社会に発信するため「春季生活闘争総決起集会」を開催する。

あわせて、構成組織の協力のもと要求・回答状況について組織内にタイムリーに発信するとともに、適宜プレスリリースを行い愛知県内の未組織労働者を含むすべての労働者の賃上げへ波及させる。

#### ② 最低賃金の取り組み

地域別最低賃金については、すべての労働者のセーフティネット強化のため最大限の引き上げに向けて取り組む。特定（産業別）最低賃金については、その産業に携わる働く者の賃金向上を目的に、産業の優位性を維持・確保できるように当該の構成組織と連携して取り組みを展開する。

改正された金額については、関係団体と連携し、愛知県内に周知する。

## 〔4〕 ディーセント・ワーク実現に向けた取り組み

労働条件改善や社会的セーフティネット機能の強化、ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向け、春季生活闘争や各種団体との意見交換など年間を通じて取り組みを推進する。また、構成組織に対し労働関係法の適正運用や労働組合としての対応について、機関会議やHP等で周知をはかる。